

商品開発から得た学びを発表する
中津商業高校の生徒＝県議会棟



県産業教育振興会が総会

県産業教育振興会の総会が、県議会棟で開かれ、専門高校4校が日頃の学習成果を発表した。

振興会には193社が入会しており、産業界と教育界が連携して、地域産業を担う人材育成に取り組んでいる。総会では毎年、各校の活動に理解を深めてもらう目的で成果発表の場を設け、本年度は中津商業、多治見工業、大垣養老、岐阜各務野の4校が発表した。

中津商業高のビジネス科

高校生、商品開発などの成果発表

流通コースは、10年以上にわたって続ける地元企業と連携した商品開発の取り組みを説明。生徒は「私たちが開発した商品は人と地域をつなぐコミュニケーションツール。商品を手にとった人たちが中津川に興味を抱く、そんな未来をつくりたい」と語った。

総会には会員ら約80人が出席。産業教育功労者や県内就職推進優良校の表彰があったほか、議事では役員改選で新会長に中村源次郎・秋田屋本店会長を選んだ。任期は2年。

(青山和史)